

事業運営への取組姿勢・経営品質等の考え方について

～地域の皆さまから信頼され、安心できる女川原子力発電所を目指して～

2020年10月29日

東北電力株式会社

- 女川原子力発電所の立地から今日まで半世紀にわたる地域の皆さまのご理解とご支援について心から感謝申し上げます。
- 女川原子力発電所は、地域の皆さまから信頼され安心できる、そして地域に貢献する発電所として再出発いたします。
- 再出発にあたっての事業運営への取組姿勢・経営品質等の考え方について取り纏めました。

発電所建設前の鳴浜



現在の状況



東北電力グループ経営理念

「地域社会との共栄」

東北の繁栄なくして、当社の発展なし

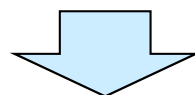
東北電力グループスローガン

より、そう、ちから。

お客さまにより沿う、地域に寄り添う

事業活動の基盤は地域の皆さまをはじめとするお客さま、社会からの信頼

地域に寄り添う、地域に貢献するという思いは、
社員一人ひとりが業務を遂行する上での揺るぎない拠り所



一人ひとりが日々の行動や日々の業務を通じて経営理念を体現するため、
具体的な行動に繋がるよう「行動指針」を定め、浸透

東北電力グループ行動指針

社員に求められる行動、あるべき姿を明確化

- ・安全の確保、安定供給、スマート社会実現
- ・地域との協調・協力、相互理解に基づく信頼関係構築
- ・法令遵守・企業倫理の徹底 など

1. 事業運営・経営品質の基本的な考え方

- 地域、社会との信頼関係をより強固なものとするためには、安全の確保が何よりも優先
- 原子力においては「安全を最優先とする文化」を根付かせるため、「原子力安全に関する品質方針」を定め、たゆまぬPDCA活動を行うことにより、継続的に安全を確保

原子力安全に関する品質方針



令和2年4月1日
東北電力株式会社
取締役社長 社長執行役員
樋口 康二郎

われわれには、先人の高い安全意識を継承し、東日本大震災を含む数多くの教訓・知見を取り入れ、リスクを低減し続けることにより、原子力安全を向上させる使命がある。

このため、一人ひとりが強い責任感を持ち、安全文化の育成および維持とたゆまぬPDCA活動に努めることにより、社会からの理解と信頼を得ることを決意し、以下の方針を定める。

1. 安全最優先の徹底
2. 法令・ルール of 遵守
3. 常に問い直し、問いかける習慣の定着
4. 情報共有の充実
5. 積極的な改善の実践

原子力安全に関する品質方針

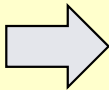
- 先人の高い安全意識を継承し、数多くの教訓・知見を取り入れ、リスクを低減し続けることにより、原子力安全を向上させる使命
 - 一人ひとりが強い責任感を持ち、安全文化の育成および維持とたゆまぬPDCA活動に努めることにより、社会からの理解と信頼を得ることの決意
1. 安全最優先の徹底
 2. 法令・ルール of 遵守
 3. 常に問い直し、問いかける習慣の定着
 4. 情報共有の充実
 5. 積極的な改善の実践

女川原子力発電所の「再出発」

(単なる再稼働ではない)

【現状】

- 新たな設備の導入
- 長期停止による運転経験減少
- 福島第一事故による不信・不安



【再出発の決意】

- ◎ 安全を向上させ新たに生まれ変わる
- ◎ ゼロから立ち上げた先人の姿に学び継承する
- ◎ 地域との絆を深め信頼を再構築する

基本的考え方
(事業運営・経営品質の思想)

- 【経営理念・スローガン】
- 【行動指針】
- 【品質方針】

先人の文化・レガシー
(守り継承すべきもの)

- 【一人の良き住民であること】
- 【マイプラント意識】
(おらほの発電所)

コミュニケーション
(安全確保・信頼構築の基盤)
地域の皆さまと、経営層と、
同僚と、協力企業と、
…あらゆる階層で

事業運営・経営品質の思想、先人の文化・レガシーを各階層のコミュニケーションにより広げ深める
こうした『再出発』への取り組みの継続により、新たな安全文化を根付かせ発展させていく

3. 「再出発」に向けた取り組み（安全性向上・業務品質向上）

- 再出発に向けて、安全性向上・業務品質向上のため、当社と協力企業が一体となり様々な取り組みを推進
- 運転経験減少への対応や新たな設備への習熟など、技術力向上を図るとともに、ヒューマンエラー防止への対応や改善活動の推進など、一人ひとりの意識・行動の改革を図る
- 今後も、常に高みを目指して継続的に改善

【再出発の原動力となる人材育成強化】

- ベテラン社員が持つ現場ノウハウを伝承するための教育強化
- 生きた現場の緊張感を体感する研修の導入
- 新たなに導入する設備の習熟のための教育訓練

【過去の教訓の伝承】

- 品質保証総点検や発電設備総点検などの他、他部門における不適切事例もふまえ、過去の教訓を様々な機会を捉えて伝承
 - ・風化防止教育
 - ・品質月間
 - ・企業倫理月間

【自ら気付き、改善・予防する活動】

- 社員および協力企業従業員から現場での改善に向けた「気付き」を幅広く収集し、影響の度合いに応じた適切な経営資源を投入し改善
 - ・「気付き」を出しやすくなるよう、社員や協力企業従業員に意識付け
 - ・当社と協力企業一体となって、改善活動を活性化



プラント起動時の
格納容器内確認



火力発電所 体感研修



シミュレータ訓練



品質月間集会

3. 「再出発」に向けた取り組み（安全性向上・業務品質向上）

【基本行動の制定と行動観察】

○「基本行動」の制定

- ・社員および協力企業従業員に期待する振る舞いや心得を整理
- ・社員・協力企業に周知，徹底

○「基本行動」に照らした「行動観察」

- ・ベテラン社員（管理職等）が作業状況を直接観察，指導・助言
- ・作業終了後，振り返り，対話により自発的な改善を促す（問いかけ，考えさせ，納得させ，改善させる）
- ・専門の外部機関から講師を招いた実技教育で研鑽

IV. ヒューマンエラー防止

1. ヒューマンエラー防止ツール（セルフチェック，3Wayコミュニケーション等）を理解し，適切に使用する。
2. 機器の確認や操作を行う場合は，「常に問い直し，問いかける」の精神を理解しセルフチェックを行う。
3. 原子力安全上の重要な操作や作業については，ピアチェックを行う。
4. 端的な指示や，重要な情報を共有する際は，3Wayコミュニケーションを活用する。
5. 聞き間違い防止のため，フォネティックコード（アルファ，ブラボー等）を使用する。
6. 問題が発生した場合，「立ち止まる勇気」を持ち，業務を中断する。
7. 周囲の状況，潜在的なリスク，作業やプラントへの影響について，常に注意を払う。
8. 異常や予期せぬ状態を発見した場合は，必ず報告する。

「基本行動」(抜粋)



行動観察の実施状況

【チーム力向上のための教育・訓練】

○コミュニケーション能力向上を目指す実践的教育

- ・協力企業とともにエラー事例などを検討，ディスカッション
 - ・コミュニケーションの重要性を学ぶ
- （チーム力の根源は良好なコミュニケーション，
良好なコミュニケーションは安全の基礎）



コミュニケーション能力向上教育



大容量送水ポンプ車送水訓練

○各種訓練を通じたコミュニケーション方法の改善

- ・3wayコミュニケーションの導入
- ・適時適切なブリーフィングの推奨
- ・簡潔，明瞭な発話ルールの設定



シミュレータ(当直ファミリー)訓練



対策本部運営訓練

4. 「再出発」に向けた取り組み（地域の皆さまとのコミュニケーション）

- 再出発に向けた信頼再構築のため、地域の皆さまの声に耳を傾け対話するとともに、迅速で分かりやすい情報発信を心掛け、丁寧な双方向コミュニケーションに努めていく
- 今後も、活動結果を振り返り改善するなど、絶えず研鑽を積み重ねていく
- 『地域との共存共栄』による発電所の運営を目指して当社と協力企業一体となり取り組む

【地域の皆さまとのふれあい活動】

- 地域の皆さまの声を聴き対話する活動
周辺地域の戸別訪問、各種説明会
- 地域に根差した貢献活動
地域貢献活動、地域行事への参加



こんにちは訪問（2019年12月）



おながわ秋刀魚収穫祭
（ふわふわマカプウ）



地区単位等小グループの「説明会」



道路美化活動

【各種媒体による広報活動】

- 各種媒体による情報発信
安全対策、廃止措置、災害対応等の情報を発信

東北電力

女川1号機の廃止措置の状況を発信

女川原子力発電所1号機の廃止措置に関する情報

ホームページ

発電所だより

2019年10月の台風19号発生時には、停電情報に加えて2時間毎に発電所の状況を発信

Twitter

東北電力株式会社
@Tohokudenryoku

10月13日6時現在、当社女川・東通原力発電所、および火力発電所において、**#台風19号**の影響による設備被害はありません。**#東北電力**

14:13 - 2019年10月12日

42件のリツイート 38件のいいね

- 安全性向上・業務品質向上や地域とのコミュニケーションにゴールはありません。常に高みを目指して、継続して改善してまいります。
- 先人達が文化・レガシーを残してくれたように、我々も将来に向けて、新たな安全文化を根付かせ発展させてまいります。